

一、芸術の秋 第二陣

— 名古屋、岡崎 —

芸術の秋も名古屋にうつり、二科展の会場もクロンボ踊りで開幕しました。

愛知県岡崎に住む牧野正吉さんは、二十年のキャリヤを持つ石工。牧野さんも芸術家として二科展に出品するため数カ月も石に打込んできました。

この牧野さんの作品の名は「対」素晴らしい石の芸術です。

地方の一芸術家として、石に情熱をかたむける牧野さんです。

一、還らざる海

— マリアナ遭難 —

十月十六日、静岡県焼津港にマリアナ海域から服部嘉一郎さんの遺体が帰ってきた。

去る七日、太平洋マリアナ諸島・アグリガン島沖で台風二十九号を待避しようとした静岡県島のマグロ漁船七隻が遭難、二五一人乗組員中、死者一、行方不明二〇七人を出す戦後二番目という集団海難惨事を記録したのである。

唯一人のしかも無言の帰還者を迎えたのは母一人、子一人の家族だった。

静岡県戸田村は一度に三隻の漁船と七十一人の犠牲者を出した。

まだ行方不明の肉親をあきらめ切れない家族達は朝に夕にお百度参りを繰り返す。物狂おしい太鼓の音が絶えない。

十月十八日、第二辯天丸の生き残り乗組員第一陣十五人が帰ってきた。船主宅で迎えた第一夜はまだ帰らぬ周囲をはばかりか重苦しい。

少年真野君も父と兄ともども九死に一生を得た一人である。しかし海の恐怖をまざまざと見せつけられたはずの少年は、また海へ出なければならぬと語る。

468

142

610